

主な意見		対応及び対応方針案	検討結果
項目	内容		
全般	四日市港の将来像を考えるに当たっては、中部圏の将来像を踏まえ、これを参考に必要な港湾機能を検討していく。	国土形成計画（全国計画）（案）中部圏広域地方計画に描かれる中部圏の将来像を踏まえる。	資料1 1-4-1において、中部圏の将来像を整理した。
	産業・物流に重点を置いていくのか、都市・住民に重点を置いていくのか、「3つの方向性」のバランスをよく考える必要がある。	四日市港の将来に向けての取組を検討するにあたり、参考とする。	資料3
物流	他港との連携の中で四日市港が優位性を持っている点を捉えた上で、中には他港に委ねる部分があってよい。	意見を参考に、四日市港の将来像を検討する。	資料3
	製造業の国内回帰の動きを充分把握して、これが港にどう対応していくかをよく検討すべき。	四日市港の将来に向けての取組を検討するにあたり、参考とする。	資料1, 3 1-2において、製造業の国内回帰の動きを補足した。
	2～3年先への対応を乗り越えないと、20年先につながらない。今ある集積を生かせる整備が必要。	臨海部企業へヒアリングを通い、企業ニーズを把握した。これらをもとに、四日市港の将来像を検討する。	資料1, 3 1-4-2において、ヒアリングを踏まえた主要産業の動向を整理した。
	現在の臨海部産業などの顧客のニーズに対応して、四日市港から離れていかない対策が必要であり、そのような港づくりが重要である。		
	バルク貨物がかなりある港という特徴があるので、船の大型化、臨海部での産業を含めた対策が必要である。	大型船の入港実績を調査した。企業ヒアリング等により、船舶大型化の動向を把握した。	資料1 1-2において、船舶大型化の動向を補足した。 4 課題1 において、四日市港への大型船の入港実績の調査結果を記載した。
	アクセス整備の促進が必要であり、これがないと貨物は集まらない。	意見を参考に四日市港の将来像を検討する。	資料3

	名古屋港はオーバーフロー気味であり、中部圏の中の四日市港の果たすべき役割がある。	意見を参考に四日市港の将来像を検討する。	資料3
	四日市市や三重県ではなく、もっと広い地域の物流拠点と考えるべき。	意見を参考に、四日市港の将来像を検討する。	資料3
	四日市港の優位性として、鉄道が近くを通っている点がある。CO ₂ 削減にも貢献するので、シー・アンド・レールを組み込んでいくべき。	意見を参考に、四日市港の将来像を検討する。	資料3
	船が大型化してきており、増深のニーズに対応していく必要がある。	大型船の入港実績を調査した。企業ヒアリング等により、船舶大型化の動向を把握した。	資料1 4 課題1において、四日市港への大型船の入港実績の調査結果を記載した。
	四日市地区に交流ゾーンが位置づけられているが、現状のまま物流の場とするべきである。	意見を参考に、四日市港の将来像を検討する。	第2回部会
都市・住民	港は距離的には近いにもかかわらず、住民意識として遠い存在なので、四港と中心街をつなげる方向性を打ち出して欲しい。	意見を参考に、四日市港の将来像を検討する。	資料3
	住民が利用できる港と物流の港と、棲み分けが必要である。	空間利用ゾーニングの際の参考とする。	第2回部会
	市民に親しまれる港づくりには、四日市港と市民とを結ぶ魅力的な仕組みづくりが必要である。	意見を参考に、四日市港の将来像を検討する。	資料3
	安全・安心と利便性を一括りに課題認識すると、高潮など防災面での問題意識に欠けるのではないか。	意見を資料に反映し、課題認識を改めた。	資料1 4 課題2において、過去の高潮被害を整理し、課題認識した。
環境	自然環境を再生しようとする取組をする港湾が日本にはない。四日市港がやれば、差別化につながる。	意見を参考に、四日市港の将来像を検討する。	資料3
	日本の港湾は諸外国に比べ水質が悪い。人が行き交うという部分がなく、明るさに欠ける。	四日市港内の水質の経年変化を調査した。意見を参考に、四日市港の将来像を検討する。	資料1, 3 3-5において、環境に関する現況を補足した。